

# CrownVivo™ Antibody

## — In Vivo Grade Isotype Control —

CrownVivo™ Antibodyは高濃度、低エンドトキシン、防腐剤不含のアイソタイプコントロール抗体です。

- 品質が厳格に管理され、ロット間のばらつきが少ない
- 細胞除去、活性化、中和、ブロッキングに幅広く使用可能
- 免疫原として鶏卵リゾチーム (HEL) を使用

クローナリティ	単一クローン
エンドトキシンレベル	<1 EU/mg (LAL法)
純度	>95% (SDS-PAGEおよびSEC-HPLC*) (*Code C0005のみ>95% SDS-PAGE、>90% SEC-HPLC)
濃度	>4 mg/ml
性状	キャリアタンパク質や防腐剤不含のPBS (40 mM KH <sub>2</sub> PO <sub>4</sub> , 150 mM NaCl, pH 7.4) で無菌包装

### 製品リスト

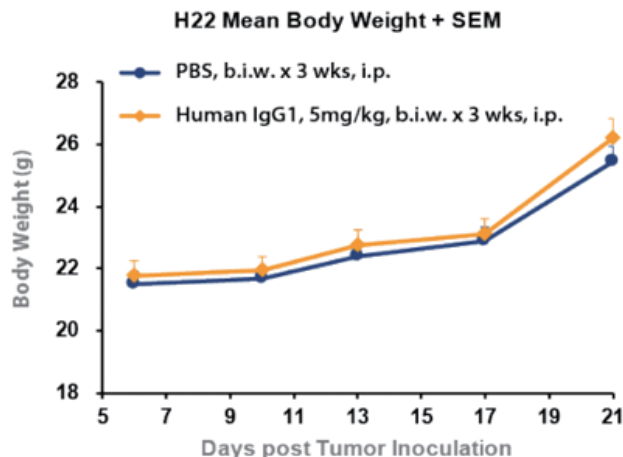
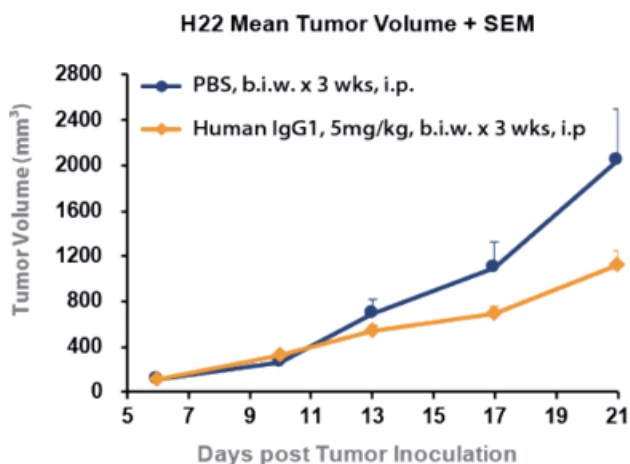
Code	製品名
C0001	In vivo Grade Human IgG1 kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0002	In vivo Grade Human IgG2 kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0003	In vivo Grade Human IgG3 kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0004	In vivo Grade Human IgG4 kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0005	In vivo Grade Mouse IgG1 kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0006	In vivo Grade Mouse IgG2a kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0008	In vivo Grade Mouse IgG2b kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0010	In vivo Grade Rat IgG1 kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0020	In vivo Grade Human IgG1 (D265A) kappa Isotype Control - CrownVivo™ Antibody
C0045	In vivo Grade Human IgG4 kappa (S228P) Isotype Control - CrownVivo™ Antibody

### 製品の特徴

- C0001 … Human IgG1 kappa Isotype Controlは、Crown Bioscience社が提供するヒトIgGアイソタイプコントロール抗体の中で最も汎用されております。本品は標準的なヒトIgG1 κコントロールと考えられており、その多くは生体由来の抗体と同様にグリコシル化されています。
- C0020 … Human IgG1 (D265A) kappa Isotype Controlは、Fc受容体結合性を弱めた重鎖改変ヒトIgG1です。
- C0045 … IgG4のFabアーム交換を防ぐためにヒンジを安定化するS228P変異が導入しています。

CrownVivo™ Antibodyは、JSRライフサイエンスグループのCrown Bioscience社で製造されています。

## 試験データ



左のグラフはH22肝癌モデルにおける、Human IgG1 Isotype Controlによる腫瘍抑制を示しています。この試験は、Human IgG1 Isotype Control投与群の腫瘍体積が、PBS投与群と比較して有意に低いことを示しています。この差は、対応する試験抗体の腫瘍増殖抑制効果を正しく解析し、薬効を正確に評価するためには、PBSではなくHuman IgG1 Isotype Controlと比較しなければならないことを明確に示しています。

## FAQ – CrownVivo™ Antibody ~In Vivo Grade Isotype Control~

Q | なぜHELが免疫原として使用されているのでしょうか？

A | HEL (鶏卵リゾチーム) は免疫原として一般的に使用されており、既知タンパク質との交差反応性が確認されたことがないためです。

Q | C0001のアロタイプは何ですか？

A | C0001アロタイプはG1m1であり、多くの治療用抗体と同じ配列です。

Q | CrownVivo™ Antibodyにはげっ歯類の病原体が混入していませんか？

A | Crown Bioscience社のアイソタイプコントロール抗体は遺伝子組換え技術により製造しております。Invitrogen社のcGMPバンク化CHO-S細胞 (A13696-01) を使用し、最終製品をMillipore社の0.22  $\mu$ mフィルター (SLGP033RS / Millex-GPシリンジフィルターユニット、0.22  $\mu$ m) でフィルトレーションしております。

Q | C0002およびC0004について: これらの製品がヒト抗体であるならば、なぜ宿主動物種がマウスなのですか？

A | これらのHuman IgG Isotype Controlはキメラモノクローナル抗体であり、可変領域がマウス由来、定常領域がヒト由来の遺伝子配列を使用しています。

Q | すべてのアイソタイプコントロールは同じ抗原認識配列を使用していますか？

A | Crown Bioscience社のアイソタイプコントロール抗体の抗原認識部位の配列は同じです。いずれも同じマウスハイブリドーマ由来の可変領域遺伝子を使用しており、定常領域だけが異なります。

本紙記載の製品は研究用です。診断および治療目的には使用いただけません。  
記載内容は2023年10月時点の情報です。最新の情報は当社までお問い合わせください。ご使用の際には、データシートをよくお読みください。  
Copyright © 2023 MEDICAL & BIOLOGICAL LABORATORIES CO., LTD. All Rights Reserved.

2023.10 155081-23101005N

**MBL** 株式会社 医学生物学研究所

A JSR Life Sciences Company <https://ruo.mbl.co.jp/>

© 創業支援部

〒105-0012

東京都港区芝大門2丁目11番8号 住友不動産芝大門二丁目ビル

E-mail : support@mbi.co.jp



製品情報はこちら